

【研究主題】

好ましい人間関係を基礎に
豊かな集団生活が営まれる教育的環境の形成
—生徒指導の機能を生かして—

【目次】

- 1 研究主題…………… P. 1
- 2 研究主題設定の理由…… P. 1～2
- 3 研究仮設…………… P. 2
- 4 研究計画と内容…………… P. 3
- 5 研究の実際…………… P. 3～10
- 6 成果と課題…………… P. 10
- 7 参考文献…………… P. 10

1 研究主題

好ましい人間関係を基礎に豊かな集団生活が営まれる教育的環境の形成
—生徒指導の機能を生かして—

2 研究主題設定の理由

(1) 現状と課題から (国や県の動向より)

小学校学習指導要領(平成29年告示)では、生徒指導の充実を図るために、「児童が、自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図っていくことができるよう、児童理解を深め、学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図ること」と示されている。また、自他の個性を尊重し、互いの身になって考え、相手のよさを見付けようと努める集団、互いに協力し合い、主体的によりよい人間関係を形成していこうとする集団づくりこそが、生徒指導の充実の基盤であり、重要な目標の一つでもあると示されている。これらのことを受けて、学校の教育活動全体における生徒指導の機能が十分発揮できるシステムを構築することが必要だと考える。

(2) 学校教育目標から

学校教育目標

《夢を持ち 未来を拓く》

確かな学力を身に付け 心豊かで 健康な子どもを育てる

目指す児童像：自ら学び考える子 思いやりのある心豊かな子 健康でたくましい子

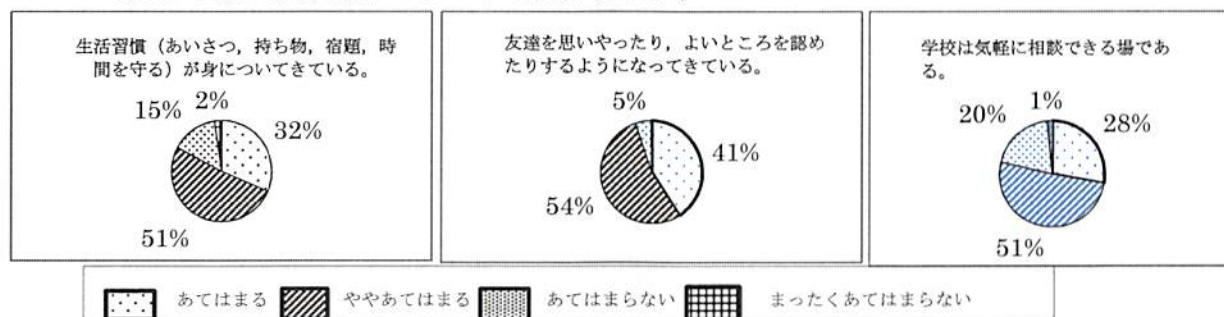
本校では、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた児童の育成のために、学習と生活の基礎的・基本的な事項の確実な定着を図り、一人一人の子どもよさを見つける努力、よさを伸ばす努力をし続ける教育を実践し、地域に根ざした信頼される学校づくりの推進に重点を置いている。

生徒指導の基本方針

- ① 発達の段階に即した確かな児童理解と教育相談を重視した生徒指導体制の確立
- ② 計画的・組織的な対応ができる生徒指導体制の構築
- ③ 豊かな人間関係づくりの推進
- ④ 生徒指導の機能を重視した「わかる授業」の展開
- ⑤ 家庭、地域社会及び関係機関等との連携促進
- ⑥ 校内いじめ防止基本方針をもとにした組織的な対応ができる生徒指導体制の構築

(3) 学校の実態から

【2017年度の学校生活アンケートの結果（図1）】



本校は、全校児童 540 名(令和 2 年 5 月 1 日現在)で構成されており、毎年学級解体を行っている。「2017年度の学校生活アンケートの結果（図1）」から生活習慣の定着について「あてはまる」と回答した児童は 32%、思いやりのある接し方については 41%と、どちらも半数に届かない結果となった。また、「学校は気軽に相談できる場である」の項目に「あてはまる」と回答した児童は 28%と 4 分の 1 程度しかないとわかる。これらの結果を学級、学年別に見ると、差が生じており、学級や学年での子どもの意識に偏りがあることがわかった。

これらのことから、学校全体の指導体制の在り方を見直し、生徒指導の機能を生かした具体的な取り組みが必要だと考え、この主題を設定した。

3 研究仮説

仮説：生徒指導の機能を生かした全校での取り組みを精選し、実践していけば、好ましい人間関係が形成され、集団生活をより豊かなものにすることができるだろう。

生徒指導の機能を生かした全校での取り組みを充実させるためには、児童が明確に目的をもつこと、全職員が共通理解のもと実行していくことが必要不可欠である。一人一人が何のために行うのか、誰のために行うのかをきちんと理解した上で、取り組みを実践していかなければ意味がなく、効果が得られない。言われて動くのではなく、自分から目的意識をもって行動できるような仕組みを全校に向けて発信できて、初めて成り立つものとする。本研究では、以下のような取り組みで実践することにした。

・生活習慣の重点目標を以下の 5 つに絞って指導にあたる。

- ① 廊下や階段は静かに右側を歩く
- ② 気持ちの良いあいさつをする
- ③ 掃除は黙々で行う
- ④ 友だちを大切にする
- ⑤ 時間を守る

上記のことを生徒指導部や生活委員会を中心に発信していくことで、学校全体の意識が高まり、互いに同じ目的のもとで生活を送ることができるようになるだろう。そのことが、人間関係をよいものとし、豊かな集団生活を営むことに繋がっていくと考えた。

4 研究計画と内容

【2018年度】		【2019年度】	
4月	昨年度の反省から課題を見出す	4月	昨年度の反省から課題を見出す
5月	① 廊下や階段は静かに右側を歩くの実践	5・6・7月	② 気持ちのよいあいさつをするの実践
6・7月	② 気持ちのよいあいさつをするの実践	9・10月	④ 友達を大切にするの実践 (スマイルボックス)
9月	③ 掃除は黙々と行うの実践	11・12・1月	③ 掃除は黙々と行うの実践 ⑤ 時間を守るの実践
10月	④ 友だちを大切にするの実践	2月	アンケート実施/集計
12月	① 廊下や階段は静かに右側を歩くの実践	【2020年度】	
2月	アンケート実施/集計	6月	④ 友達を大切にするの実践 (スマイル郵便)

5 研究の実際

(1) 仮説の検証の実践

① 廊下や階段は静かに右側を歩く

・「つるロード」の設置 (2018年度)

右側通行や階段を静かに歩くことを意識させるために、生活委員会で折り紙のつるを作製し、釣り糸に通して階段中央に設置した。学校には3か所階段があるので、3か所色別にして設置した。看板に「いつもつるの気持ちに覚えてくれてありがとうございます」と強制的ではなく、自主性を尊重するメッセージを掲示した。2019年度には、緊急避難時や掃除面でのやりやすさを考慮し、先端に取り外し可能なフックを取り付けた。



・「つるの恩返し」の紙芝居

12月(2018年度)の児童集会でスライドを使った紙芝居を実施した。最後には、つるロードの看板と同じ「いつもつるの気持ちに覚えてくれてありがとうございます」に繋がるメッセージを伝えて終わる内容構成にした。



【紙芝居】

・「卒業制作」でのつるの設置 (2018年度)

階段の雰囲気をつるのイメージにするために、卒業制作で3か所すべての階段にちぎり絵の巨大なつるを作製した。

豊かな集団づくりとは、強制力をもつものではなく、自ら考え、自ら行動できるようにすることだと考える。そのためには、学校全体が明るい雰



【つるロード】

囲気に包まれなくてはならない。つるの気持ちを考えることで、自然と階段や廊下を落ち着いて歩けるようになり、良い雰囲気づくりにつながる。さらに、そのことが友達のことを考えられるようになっていき、好ましい人間関係の構築にも繋がっていくと考える。

② 気持ちの良いあいさつをする

・「あいさつ運動」の実施（2018年度）

あいさつ運動を縦割り活動の一環として実施した。校内の生徒指導部会で計画したことを生活委員会に下ろし、生活委員会を中心に朝の7時20分から50分まで縦割り班をローテーションして、6月から3月まではほぼ毎日実施した。本校の規模では、縦割り班のローテーションを組むと、だいたい一人あたり月に一回実施することになり、児童に負担をかけずに実施してきた。1年生においては、9月からの実施とした。雨の日には、校内で実施した。



【あいさつ運動】

2019年度では、子どもに定着してきたので、年間学期に1回とし、計3回の実施として取り組んだ。

実施の仕方としては、6年生の間に1年生を挟み、校門の前に一列に並び、ハイタッチをしながらあいさつをしていくという流れで実施した。あくまで任意の活動として行い、参加の有無は児童の自主性に任せるものとした。



・「あいさつ名人の心得」の定着

生活委員会で考えた具体的なあいさつの仕方を「あいさつ名人の心得」として、全校掲示した。

あいさつ運動時に全校に浸透させるために、全校に呼びかけたり、全校朝会でこの掲示物を使って、寸劇をしたりと定着に向けて取り組んだ。

この活動を通じて、異学年との交流を深め、楽しみながらあいさつを行っていくことで、「あいさつは明るい雰囲気をつくる源」だということを実感させ、より豊かな集団生活に繋がっていくことをねらいとした。



【あいさつ名人の心得】

③ 掃除は黙々と行う

・「縦割り掃除」の実施

9月（2018年度）に高学年の意識向上をねらいとし、全校での縦割り掃除を実施した。5・6年生を各掃除場所に必ず配置させ、掃除の仕方や決まりを他学年の児童に教えるシステムを継続できるようにした。2019年度は、掃除の仕方を定着するため、通常掃除に戻した。

・「お掃除名人」の取り組み（2019年度）

生徒指導部の職員、生活委員会が特に掃除の仕方が上手な人や場所を昼の放送で紹介していく活動を実施した。生活委員会の担当掃除場所から近い場所に割り振り、掃除をしながらメモをしていくこととした。生活委員会の目が行き届かない場所は、生徒指導部の職員で分担を決めて、すべての掃除場所を紹介できるようにした。毎週金曜日に集計し、その週の分をまとめて金曜の給食時に放送した。

これらの活動によって、先生が中心になるのではなく、児童同士の話し合いや協力のもと、学校をきれいにしていくという目標に向かって、一人一人が責任をもって掃除をすることができるようになってきた。

④ 友だちを大切にする（2018年度）

・「いじめの階段」の取り組み

「いじめの階段表」を作成し、本校でのいじめの定義を全職員で周知し、3学年以上で実施した。その掲示物を使って、校内での指導の統一を図った。また、本校だけでなく、西中校区の学校でも同じものを使用し、指導にあたるようにした。



【いじめの階段表】

具体的な「いじめの階段表」の活用方法としては、児童の行動に対して、いじめのレベルが上がっていることを視覚的に訴え、さらに、その行動がどのくらいの位置にあるものなのかを明確にさせる。そうすることで、児童自身がただ先生に怒られたという認識から、自分自身で改善していこうという認識に変えていくことができるようになってきた。また、階段は下りることもできるという指導を入れることで、児童の気持ちを新たにスタートさせていくという効果も期待できる。

・「スマイルボックス」の設置（2019年度）

本校には、相談箱が設置されており、児童の相談を受け入れ、対応にあたることになっていた。しかし、全校のアンケート結果（図1）からもわかるように、児童の相談しようとする気持ちが低下している。

このことは、学校側は受け入れ体制ができていないにもかかわらず、児童側では、それを生かそうとしていないことや生かすことができないと考えていることがわかる。



【スマイルボックス】

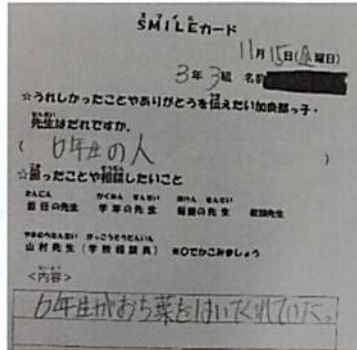
そこで、相談内容の幅を悩みごとだけでなく、他学年の働きへの感謝の気持ちや先生に対するありがたい気持ちを伝えられるツールとしての機能も含ませ、名前を「スマイルボックス」と温かいイメージにした。

こうすることで、児童が相談しやすい環境となり、相談箱としての機能を果たすことができると考えた。また、温かい言葉をたくさんの人に伝えることで、より豊かな人間関係を形成するこ

とに繋がっていくと考えた。

全校に浸透させるために、月の最後にスマイルボックスに入っているメッセージを放送したり、スマイルボックスのキャラクターやその名前の募集を募ったりと生活委員会中心に実施した。メッセージは、「スマイルカード」に記入するようにした。

2020年度は、さらにスマイルボックスに投稿されたスマイルカードを生活委員会が各学級に届ける「スマイル郵便」を実施した。集められたスマイルカードを養護教諭が精査し、



生徒指導主任が生活委員会に配付できる内容の手紙を配り、生活委員会が各学級に設置してある「スマイル郵便」に届けるといった取り組みである。(資料編 P12 を参照)

【スマイルカード】

【スマイルボックスのキャラクター】

⑤ 時間を守る (2019年度)

・「下校時刻」の共通理解

まず、下校時刻をきちんと守ることが学校生活において非常に大切な意味があると考えます。下校時刻を守らせることは、児童の意識だけでなく、職員の意識も高くなければなりません。下校時刻を意識した生活を送ることによって、普段の学習や生活の時間を守っていくことに繋がる。

取り組みとしては、職員会議で全職員に周知した上で、何のために下校時刻を守るのかを各学級で共通理解を図った。下校時には、生徒指導部による呼びかけを実施した。放送や拡声器を使って、下校時刻の意識化を図った。

・「休み時間」の過ごし方

本校は、ノーチャイムを実施しており、休み時間などの終わりの合図がなく、児童の自主的な行動で時間を守るようにしている。そのため、掃除の開始や休み時間後の学習に遅れてしまう児童がたびたび見られた。

そこで、時間に対する指導事項を共通理解、共通実践した。その上で、生活委員会の児童や生徒指導部の職員による呼びかけを実施した。

・「掃除開始」の一斉号令

掃除の始まりが場所によって異なっている現状から、放送委員会と連携を図り、掃除の始まりの号令を放送で、一斉にかけることにした。

そうすることで、昼休みの終わりの時刻を意識し、掃除の時間をきちんと守ろうという児童の気持ちの誘発をねらいとした。

(2) 仮説検証の結果と考察

①廊下や階段は静かに右側を歩く

○2018年度につるロードの意義やつるロードを実施したことにより効果があったかなどの調査のため、「つるロードアンケート」を全校に向けて実施した。また、課題を自由記述にすることで次年度の課題設定に役立てた。

【つるロードアンケート結果】

つるロードは、何のためにあると思いますか		
理解している・・・421人	空欄・わからない・・・25人	
つるロードがあることで右側通行ができるようになりましたか		
できた・・・367人	まあまあできた・・・81人	できなかった・・・8人
つるロードや廊下歩行に関して思ったことがあったら自由に書いて下さい		
右側を意識して歩けるようになった ルールを守れるようになった 廊下にもつるを置いた方がよい 右・左とはっきり分かれるようになったのでよい つるの色がちがっていておもしろい ふざけて歩く人が減った 工夫されていてよい つるの色がカラフルで学校が明るくなった 静かに歩くようになった つるの気持ちになれた	こわされることがあった 歩くところがきつい 右側通行をしていない人がまだいる つるさんが踏まれていると悲しい つるロードを頑丈にしてほしい 混んでいるときに左側を歩く人がいる 掃除の時じゃまだった	

この調査から94%以上の児童がつるロードに対しての目的を理解して生活を送っていることがわかる。また、右側通行に関しては、実際に「できた」「まあまあできた」と回答した児童が98%以上となっており、児童が意識して廊下歩行を行えるようになってきたと言える。自由記述の項目では、肯定的な意見が多かった。しかし、掃除のしにくさなどの課題が見られたため、2019年度には改良を加えていった。(1)仮設の検証実験①を参照)

また、つる自体が折り紙で作られているため、劣化してしまうという課題もあった。現在は2年ごとに新しいつるづくりを全校児童に呼びかけ、修復できるようにしていくという計画を考えている。

これらのことから、実際に廊下をきちんと歩いている姿が見られるようになり、落ち着いて学校生活を送れる児童が増えてきたと感じる。今後は、単発的に終わるのではなく、継続的に取り組み、誰もがより豊かな集団生活を送っていけるようにさらにこの活動を広めていきたい。

②気持ちの良いあいさつをする

○児童がどのくらい自主的にあいさつ運動に取り組めるようになったか任意でのあいさつ運動の参加率を調査し、始めた当初と2019年度の最後で比較した。縦割り班の編制の仕方が2018年度と2019年度では、異なるが以下のような結果となった。

【あいさつ運動の参加率の結果】

【始めた当初】	1組1班	1組2班	1組3班	1組4班	1組5班	1組6班	1組7班
出席	15	14	15	18	20	16	21
全体	23	25	25	25	26	25	25
出席率	65%	56%	60%	72%	77%	64%	84%
	2組1班	2組2班	2組3班	2組4班	2組5班	2組6班	2組7班
出席	20	18	13	11	19	18	18
全体	26	25	24	26	26	25	25
出席率	77%	72%	54%	42%	73%	72%	72%
	3組1班	3組2班	3組3班	3組4班	3組5班	3組6班	3組7班
出席	15	17	20	20	15	17	24
全体	25	25	25	24	25	25	25
出席率	60%	68%	80%	83%	60%	68%	96%

全体 約70%



【2019年度】	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班
出席	31	32	25	29	29	31	26
全体	32	33	33	32	32	32	33
出席率	97%	97%	76%	91%	91%	97%	79%
	8班	9班	10班	11班	12班	13班	14班
出席	27	28	29	29	30	31	29
全体	32	32	32	32	32	31	31
出席率	84%	88%	91%	91%	94%	100%	94%
	15班	16班	17班	18班			
出席	30	30	29	30			
全体	33	33	32	33			
出席率	91%	91%	91%	91%			

全体 約91%

始めた当初は、1年生は参加しておらず、2019年度に全校参加のスタイルをとったため、全体数に違いはあるが、全体の参加率が始めた当初は約70%だったのに対して、2019年度では、90%以上の参加率となった。このことから、児童があいさつ運動に対して肯定的にとらえ、積極的に参加するようになったと言える。明るくあいさつしたり、ハイタッチをしたりしていくことで、自然と全体に明るい雰囲気が広がっていくことを感じた。また、当初は班ごとに参加率のばらつきが見られたが、2019年度では、それほどばらつきは見られなかった。2019年度では、参加率の表を随時掲示し、縦割り活動での団結心を向上させたことや職員の意識が高まったことが効果的だったと感じた。

③掃除は黙々とする

○縦割り掃除（2018年度）、通常掃除（2019年度）の全校アンケートの結果（無回答は含めない）

【黙々掃除について】		【2018年度】			
	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった	
協力してできたか	69%	25%	4%	2%	
進んで掃除ができたか	64%	27%	8%	1%	
片付けまできちんとできたか	70%	23%	6%	1%	

【黙々掃除について】		【2019年度】			
	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった	
協力してできたか	55%	35%	9%	1%	
進んで掃除ができたか	59%	33%	7%	1%	
片付けまできちんとできたか	71%	25%	3%	1%	

これらの調査から、縦割り掃除の方がより効果があったということがわかる。2019年度では、実際の掃除の様子を見ると、だいぶ黙働が定着してきたが、児童の意識調査では、「協力してできたか」「進んで掃除ができたか」の項目で「よくできた」と回答した児童は60%以下という結果だった。これらの結果から、児童が自信をもって掃除を頑張ったと言えるように今後の取り組みとしては、2019年度に実施した「あなたたちはお掃除名人」の取り組みがよかったという反省が多かったため、これらの取り組みを充実させ、より良い集団生活につながるようにしていきたい。

④友だちを大切にする

○生徒指導の機能を生かし、いじめに繋がる行為に対しての指導の統一化やスマイルボックスの推進など、2年間の取り組みの全校アンケートの結果

【友だちを大切にするについて】		【2018年度】			
	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった	
友達にやさしくできたか	60%	31%	8%	1%	
言葉づかい	42%	40%	16%	2%	
友達と仲良くできたか	71%	22%	6%	1%	

【友だちを大切にするについて】		【2019年度】			
	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった	
友達にやさしくできたか	61%	34%	3%	2%	
言葉づかい	40%	50%	9%	1%	
友達と仲良くできたか	69%	26%	4%	1%	

これらの調査から、「友だちにやさしくできた」「言葉づかい」「友達と仲良くできたか」のすべての項目で、肯定的な回答をした児童が多くなってきた。特に2019年度の言葉遣いの項目では、約90%の人が肯定的な回答をするようになった。このことは、学校全体が明るい雰囲気になってきており、人間関係も良好傾向にあると言える。

※2020年度の取り組み、結果については資料編 P12 を参照

④時間を守る

○2018年度、2019年度の全校アンケート結果

【時間を守るについて】		【2018年度】			
	よく守れた	守れた	あまり守れなかった	守れなかった	
授業のはじまり	43%	43%	13%	1%	
給食のはじまりと終わり	55%	33%	11%	1%	
掃除のはじまりと終わり	58%	32%	8%	2%	



【時間を守るについて】	【2019年度】			
	よく守れた	守れた	あまり守れなかった	守れなかった
授業のはじまり	40%	50%	9%	1%
給食のはじまりと終わり	52%	38%	9%	1%
掃除のはじまりと終わり	54%	37%	8%	1%

これらの調査から、否定的な回答は減ってきている。しかし、「授業のはじまり」「給食のはじまりと終わり」の時間に対して、よく守れたと回答している児童が少ない。

これらのことから、時間を意識して行動できるようになった児童は増加しているが、定着してきたとまでは言えず、今後も引き続き手立てを講じていく必要があると感じる。

6 成果と課題

【成果】

- つるロードの取り組みを実践してきたことで、児童に右側を静かに歩く習慣が身についてきた。
- あいさつ運動を通じて、あいさつに対して意欲的に行う児童が増加した。また、高学年が明るくあいさつできるようになった。学期に一度の実施にしたことで職員の負担軽減化にも繋げることができた。
- 職員や児童の意識が高くなってきたことで、黙働掃除が少しずつ定着してきた。トイレ掃除や外掃除などの目が行き届きにくい場所でもしっかりと掃除することができるようになってきた。
- 思いやりを向上させる取り組みを実践してきたことで、友だちに対する言葉遣いが良くなってきた。「いじめ調査件数」も2018年度は31件に対して2019年度は20件と減少傾向になってきている。
- スマイルボックスやスマイル郵便の取り組みにより、友達同士の関わりだけでなく、教師側との関係も良くなっていった。

【課題】

- つるロードが劣化してしまっている物があるので、生活委員会だけでなく、全校児童を巻き込んだ新たな取り組みを講じていきたい。また、児童の声の中にも「学校が明るくなった」と答えているものがあつたので、今後もそういった児童の声を大切に、より豊かな集団生活を送っていけるような取り組みを実践していきたい。
- 普段の廊下でのあいさつに個人差が生じている傾向にあるので、次年度の課題としていきたい。
(P1 資料編参照)
- 児童の意識調査の結果から、自信をもって「掃除を頑張っている」と言えるように、引き続き今回の取り組みを継続していきたい。
- スマイルボックスの活動を学級の帰りの会などに取り入れるなどの手立てを講じて、より豊かな人間関係づくりに貢献できるようにしていきたい。
- 給食や授業の準備などの時間設定が学年や学級での取り組み中心になっていたため、全校で共通したシステムで取り組めるように手立てを講じていきたい。

7 参考文献

- ・文部科学省 (2018) 『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説』 東洋館出版

2021 年度



【目次】

- 1 生徒指導年度末生活アンケート……………P. 1
- 2 生徒指導年度末生活アンケート（グラフ）……P. 2～3
- 3 あいさつ運動の変容グラフ・掲示物……………P. 4～5
- 4 スマイルボックスの説明……………P. 6
- 5 掃除名人放送原稿……………P. 7
- 6 月の目標・あいさつ名人の心得・いじめの階段表掲示・P. 8～9
- 7 つるロード・紙芝居……………P. 10～11
- 8 スマイル郵便……………P. 12

生活指導研究部
成田市立成田小学校 大内 文博

【生徒指導 年度末 生活アンケート結果】

<2018 年度>

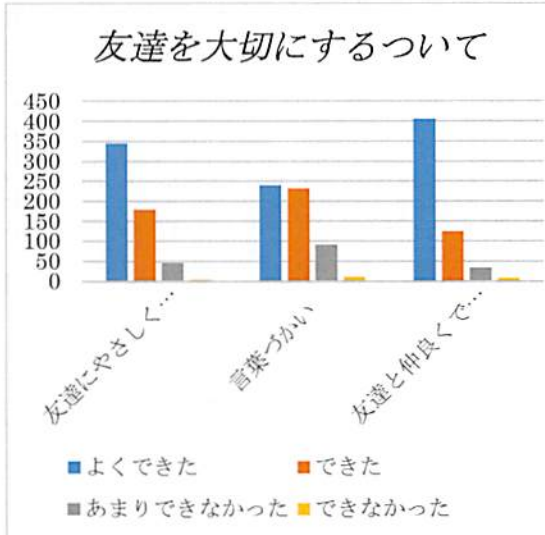
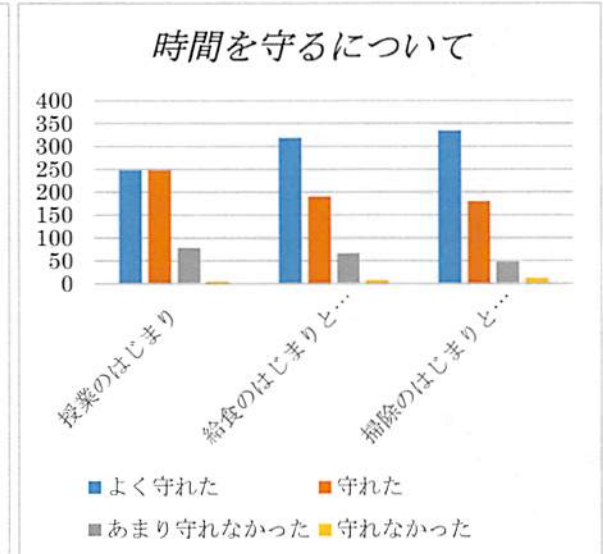
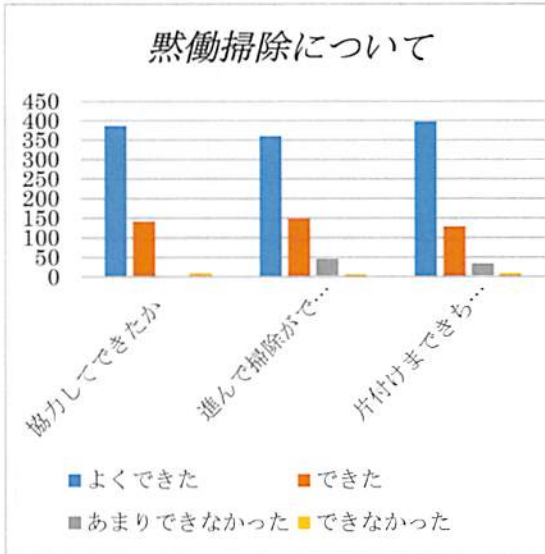
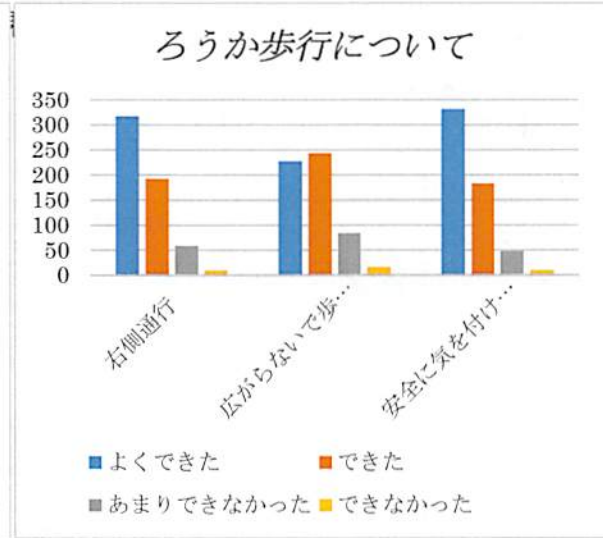
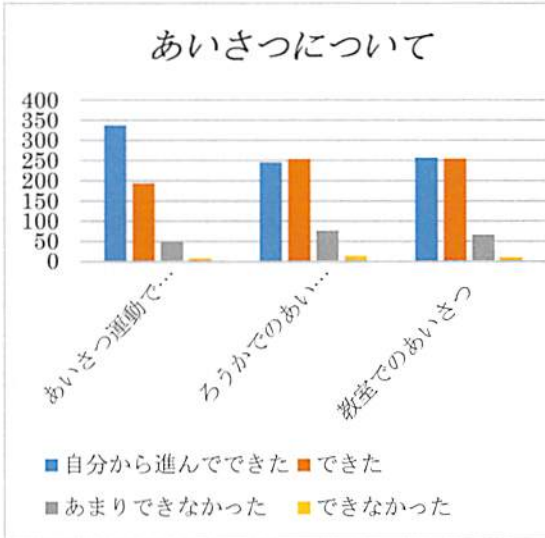
【あいさつについて】 ※○をつけましょう。				
	自分から進んで できた	できた	あまりできなかった	できなかった
あいさつ運動でのあいさつ	337	194	50	7
ろうかでのあいさつ	245	254	76	13
教室でのあいさつ	257	255	66	9
【ろうか歩行について】				
	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった
右側通行	317	193	59	10
広がらないで歩くことができたか	227	243	84	16
安全に気を付けて歩くことができたか	332	183	48	10
【黙働掃除について】				
	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった
協力してできたか	387	142	28	9
進んで掃除ができたか	360	149	46	6
片付けまできちんとできたか	397	129	33	8
【時間を守るについて】				
	よく守れた	守れた	あまり守れなかった	守れなかった
授業のはじまり	248	248	78	5
給食のはじまりと終わり	318	190	66	8
掃除のはじまりと終わり	334	180	47	13
【友達を大切にすることについて】				
	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった
友達にやさしくできたか	345	179	46	4
言葉づかい	240	232	91	11
友達と仲良くできたか	406	124	33	8

<2019 年度>

【あいさつについて】 ※○をつけましょう。				
	自分から進んで できた	できた	あまりできなかった	できなかった
あいさつ運動でのあいさつ	336	173	27	12
ろうかでのあいさつ	243	250	56	5
教室でのあいさつ	287	208	44	15
【ろうか歩行について】				
	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった
右側通行	274	237	41	7
広がらないで歩くことができたか	256	231	57	10
安全に気を付けて歩くことができたか	341	160	42	10
【黙働掃除について】				
	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった
協力してできたか	307	191	52	4
進んで掃除ができたか	327	182	39	6
片付けまできちんとできたか	394	137	19	4
【時間を守るについて】				
	よく守れた	守れた	あまり守れなかった	守れなかった
授業のはじまり	216	284	52	3
給食のはじまりと終わり	287	207	52	4
掃除のはじまりと終わり	299	206	42	3
【友達を大切にすることについて】				
	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった
友達にやさしくできたか	338	186	17	9
言葉づかい	223	276	49	7
友達と仲良くできたか	374	138	22	6

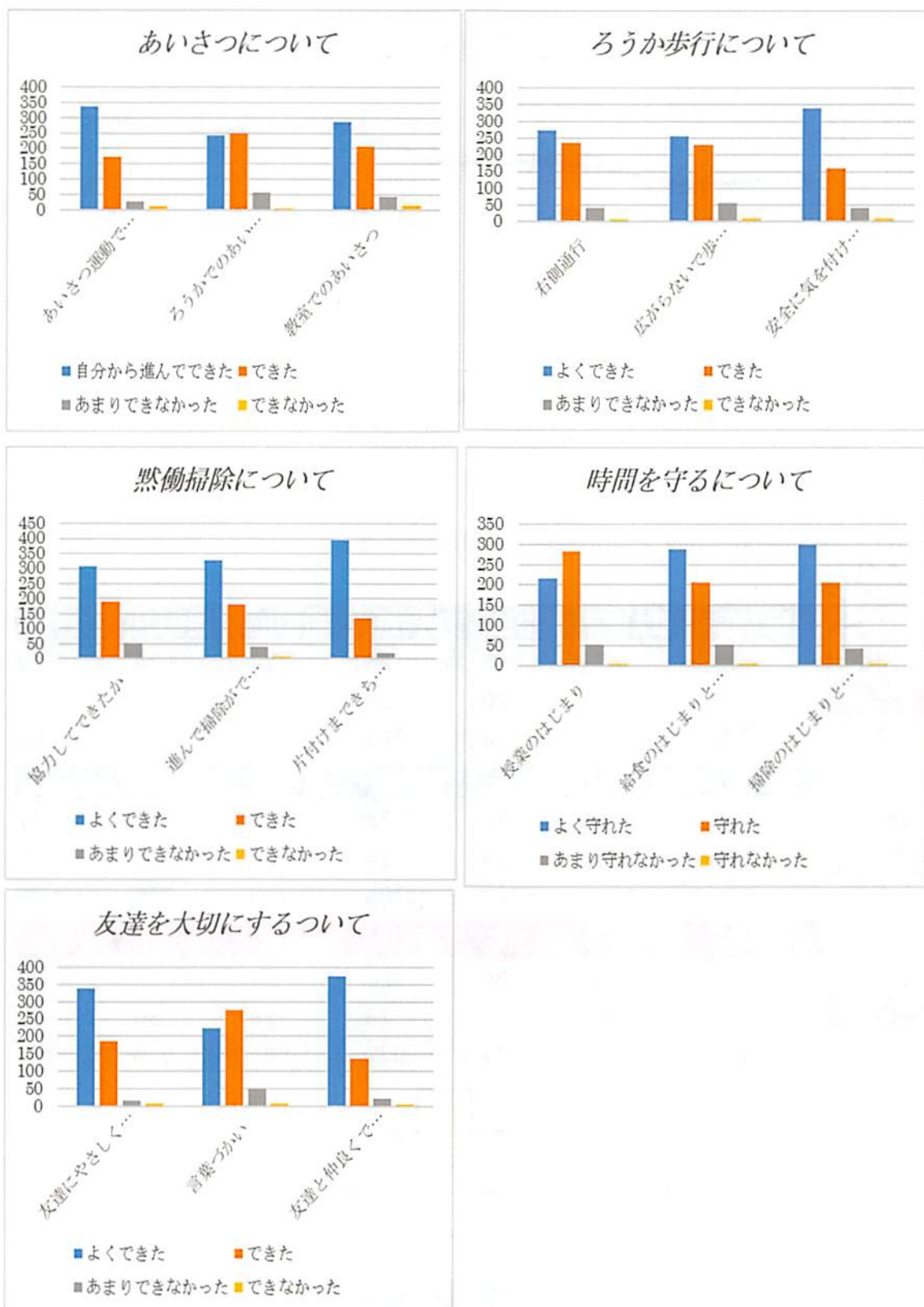
【生徒指導 年度末 生活アンケート結果 (グラフ)】

<2018 年度>

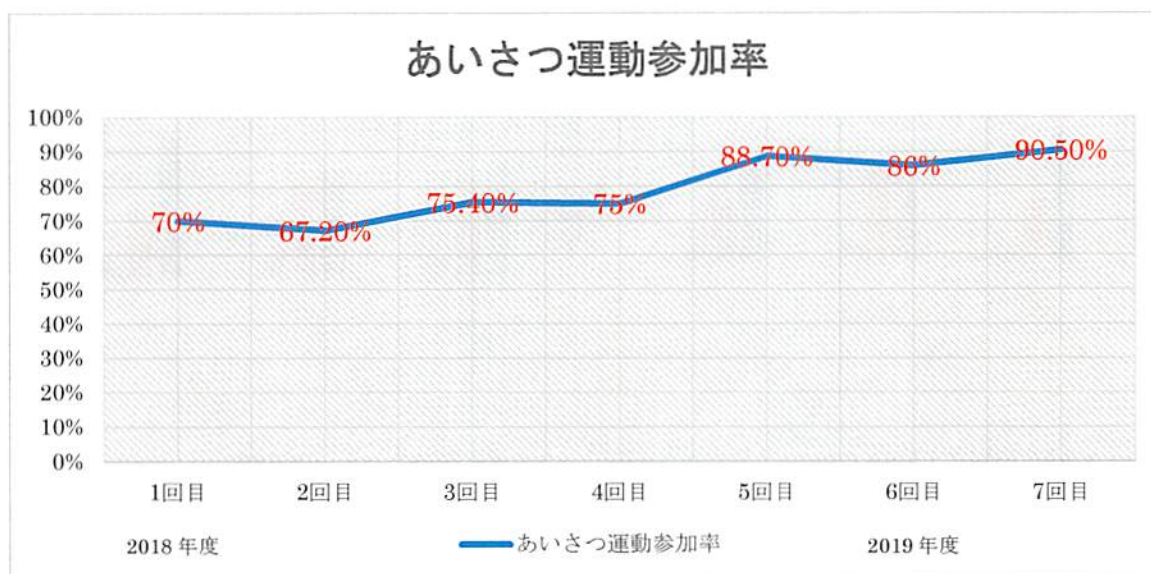


【生徒指導 年度末 生活アンケート結果（グラフ）】

<2019 年度>



【あいさつ運動の参加率の変容】



【あいさつ運動校内掲示用】※2018年度 5回目の掲示物



	1組1班	1組2班	1組3班	1組4班	1組5班	1組6班	1組7班
出席	22	25	25	26	22	24	26
全体	27	29	30	29	29	29	29
出席率	81%	86%	83%	90%	76%	83%	90%
	2組1班	2組2班	2組3班	2組4班	2組5班	2組6班	2組7班
出席	25	27	25	23	23	27	27
全体	30	28	28	29	30	30	29
出席率	83%	96%	89%	79%	77%	90%	93%
	3組1班	3組2班	3組3班	3組4班	3組5班	3組6班	3組7班
出席	28	30	26	28	27	29	29
全体	30	30	30	29	28	30	30
出席率	93%	100%	87%	97%	96%	97%	97%



約 87.7%

544人

【あいさつ運動学級掲示用】

あいさつ好き！集まれ！！

かつどうじかん
【活動時間】・・・7：25～7：45

<ポイント>

- ①明るく 笑顔で 元気よく！！③あいさつ日記を書こう！
- ②ランドセルは教室においてから！④名札をつけて！

月	火	水	木	金
				3 / 1
				1組3班
4	5	6	7	8
なし	1組4班	1組5班	1組6班	1組7班
11	12	13	14	15
2組1班 2組2班	2組3班 2組4班	2組5班 2組6班	2組7班 3組1班	なし
18	19	20	21	22
3組2班 3組3班	3組4班 3組5班	3組6班 3組7班	休み	先生



【これができたらあいさつ名人！！】

・止まってくれた車に^{えしゃく}会釈しよう。

【スマイルボックスの説明】

ス マ イ ル
～SMILE～

②…すべてのひとが

③…まいにちを

④…いいかおで

⑤…ルンルン楽しくすごしていけますように

ふだん 普段はなかなか言えない感謝の気持ちを伝えて
みよう！ちがう学年の加良部っ子や先生だって
うれしいものです。

【こんなことを書いてほしいな(´▽`)】

☆困ったことや相談したいこと

☆うれしかったことやありがとうを伝えたいこと（加良部っ子や先生）

ス マ イ ル カ ー ド

月 日（ 曜日）

年 組 名前（ ）

☆うれしかったことやありがとうを伝えたい加良部っ子・
先生はだれですか。

（ ）

☆困ったことや相談したいこと

担任の先生 学年の先生 保健の先生 教頭先生

やまむらせんせい がっこうぞうだんいん
山村先生（学校相談員） ※Oでかこみましよう

< 内容 >

（ここにかけたことは、ぜったいにひみつにします。）

【掃除名人放送原稿】

【掃除名人放送原稿】

ピンポン!!

1・2のタイミング!

生活委員会の〇〇です。今週も加良部小学校をきれいにするために、
ご協力いただき、ありがとうございます。今週特によかった掃除場所や
お友だちは・・・

メモ

掃除場所

友だち

マイクのボタンを押
しながら話して

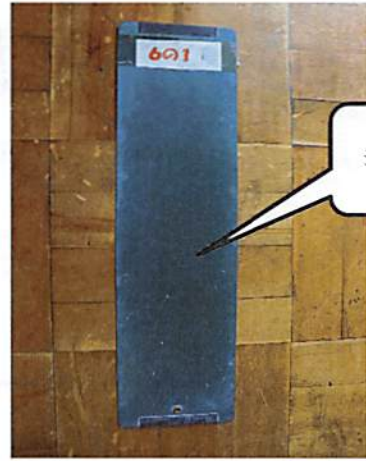
・・・です。来週もみんなで気持ちよく、生活
していくために、加良部小学校をきれいにしてい
きましょう。これで生活委員会からのお知らせを
終わりにします。

最後に緑のボタンを
押すのを忘れずに!



【月の目標掲示（学級目標）】

5月の☆具体的な目標☆	5月のめあて 気持ちの良い あいさつをしよう。
-------------	-------------------------------



ミニ黒板

【生活委員会新聞】

5月 生活委員会新聞			
() 年生 各クラスの反省			
3組	2組	1組	5月のめあて 気持ちの良い あいさつを

【生活委員会から】



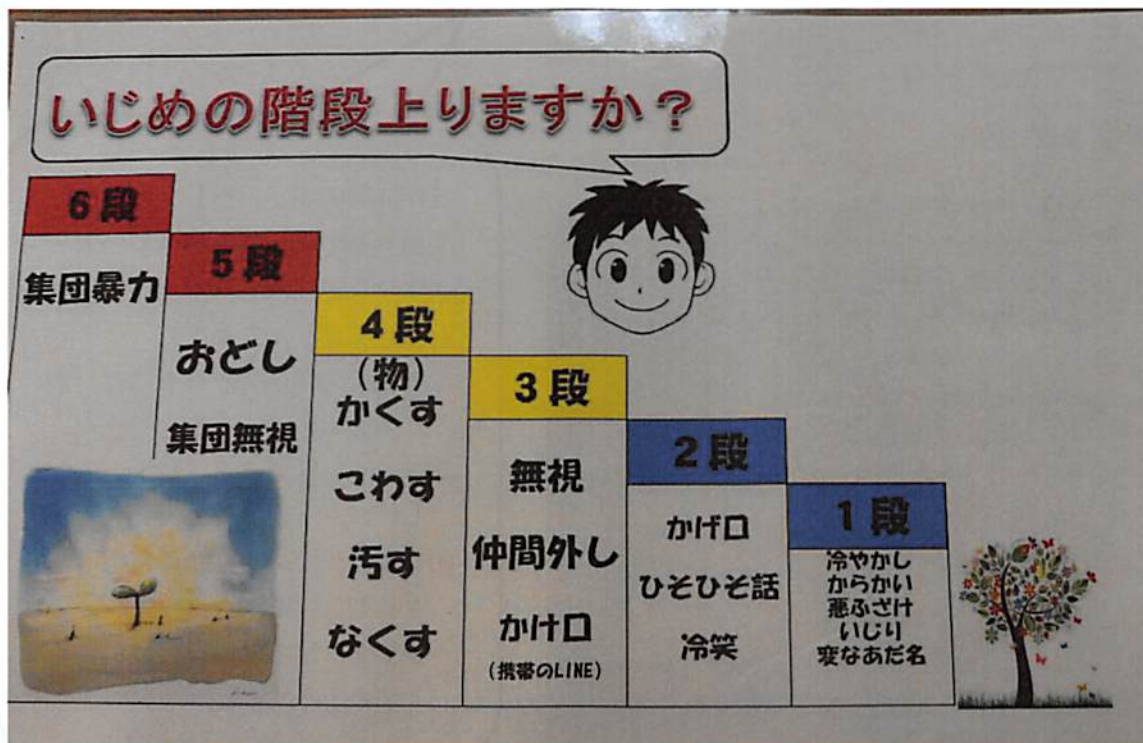

月の目標を各学級で反省したものをミニ黒板に書き、生活委員会がそれを回収し、新聞としてまとめる。最後に「生活委員会から」で次の目標を立てさせたり、今月の評価をしたりする。

そうすることで、学級での生活意識を継続させていく。

【あいさつ名人の心得】



【いじめの階段表】



【つるロード】



【東階段】



【職員室前階段】

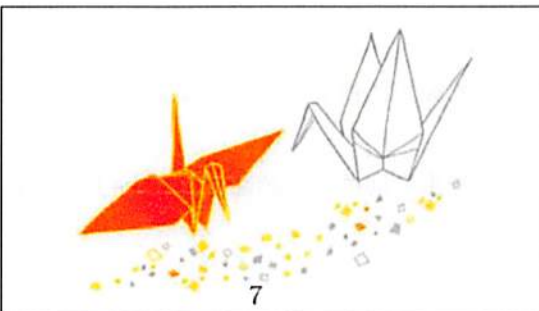
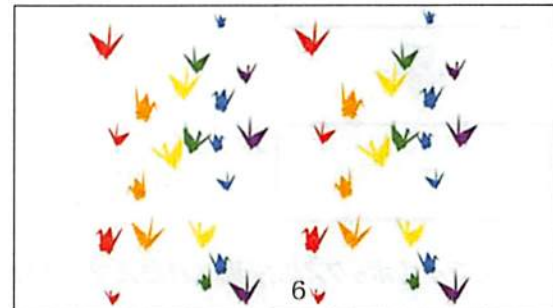
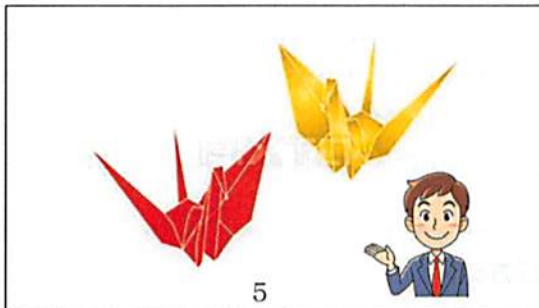
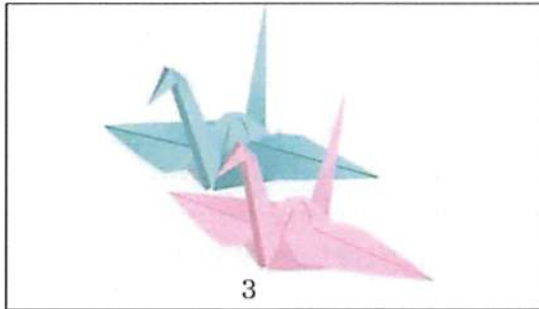
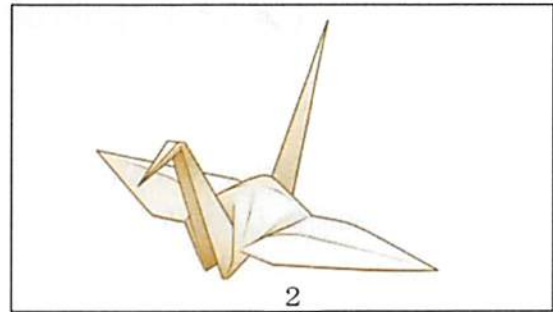
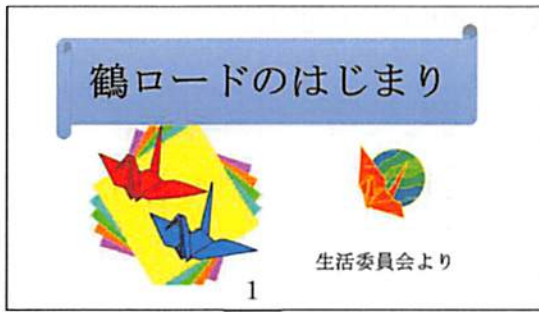


【西階段】

【作成時のポイント】

- ①釣糸で折り紙のつるをつるす。(つるの頭とおしりに穴をあけて釣糸を通す)
- ②階段の先端にフックをつけ、釣糸を止める。
- ③ひとつの段差に2~3羽が望ましい。
- ④卒業制作でちぎり絵の巨大つるを作製し、透明なクリアシートを上から貼る。階段の幅に合わせてカットする。

【つるロード紙芝居】



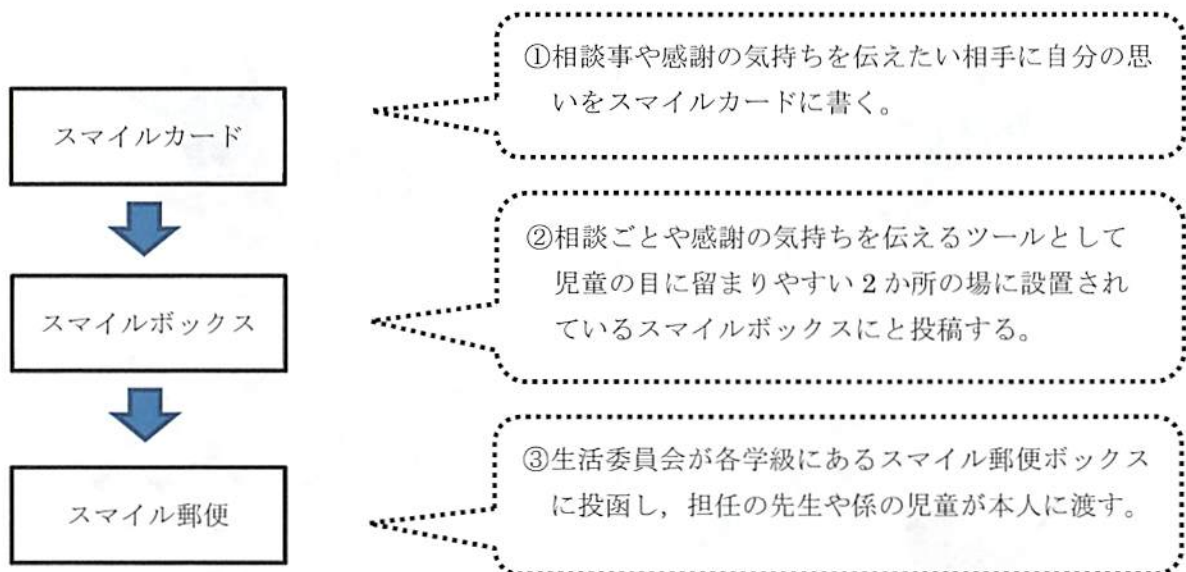
【スマイル郵便】(2020年度の取り組み)

1. 目的

- 全校にスマイルボックスの活動を浸透させる
- 温かい人間関係の構築を目指す（友達・先生）

2. 仕組み

- スマイルボックスに投稿されたスマイルカードを本人に届くようにする。



☆スマイルボックスに投稿されたスマイルカードの行方☆

- ①スマイルボックスは養護教諭が鍵を開けてその日のうちに回収する。
- ②養護教諭がスマイルカードを相談用か郵便用か精査して生活委員会を担当している生徒指導主任に相談したり、確認したりして引き継ぐ。
- ③相談事は生徒指導主任の判断で管理職や該当の担任の先生に相談したり、引き継いだりする。生徒指導案件として処理する。
- ④郵便用は生活委員会に渡し、投函するようにする。先生に向けての感謝の気持ちは職員室前の「スマイル郵便」ボックスに投函するようにする。

3. 2020年度の全校アンケート結果

	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった
スマイルボックスを活用できたか	82%	16%	2%	0%
友達にやさしくできたか	76%	20%	3%	1%
言葉づかい	49%	44%	6%	1%
友達と仲良くできたか	74%	22%	3%	1%